

第1回 臨時会

令和5年第1回臨時会は、一般選挙後初めての議会として、5月11日に開催されました。

本会議では、議長、副議長の選挙をはじめ、各委員会委員の選任、一部事務組合議会議員の選挙など、議会の人事が行われました。また、専決処分の承認など全7議案が市長から提出され、いずれも原案のとおり、全会一致で承認、可決されました。

就任のじゅんぐわい

議長 宮内 守



議長
宮内 守

副議長
栗原 繁

5月11日の第1回臨時会におきまして、議員各位のご協力により、第7代行方市議会議長に就任いたしました。もとより浅学非才ではありますが、議員各位のご理解とご協力を得て円滑に議会運営をしてまいりたいと思っております。

さて、本市を取り巻く状況は非常に厳しく、人口減少や高齢化率は他の自治体を上回るスピードで進行しており、令和4年度には行方市全体が過疎地域に指定されました。私たち議会は、国や県と連携を図り、この重要課題を少

しでも前進させるため、執行部との議論を通し、市民目線で解決を図っていきたくと考えております。市長もわれわれ議員も、市民から付託を受けた者同士であり、互いに二元代表制をしっかり認識し、市政発展、市民福祉の向上のため努力していかねなければならぬと思っております。

現在、これまで誰も経験したことのないパンデミック、そしてコロナ禍から、以前の日常に戻りつつあります。

今後はこのピンチをチャンスに変え、飛躍発展するため市民の多くの意見をお寄せいただきたいと思っております。どうぞ多くのご意見を議員各位に頂戴できますようお願い申し上げます。私は不断の努力を続け、持続可能な行方市づくりに邁進してまいりますことをお誓い申し上げます。

結びに、行方市民の皆さまの益々のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。就任のごあいさつといたします。

副議長 栗原 繁

新たな任期の始点に立つ権利を与えて頂くやいなや、身に余る職務に任じられることとなりました。曲がりなりと積んできた経験を評価して頂き、及第を許されたものであったといたしましたが、重責に身の竦む思いです。僭越には

存じますが、研鑽の機会を頂けたものと心得て、敢えて承った次第であります。

少子化による人口減少は、避けられない現実として、私たちの未来に影を落としていきます。行方市の将来設計は、その事実を踏まえ、不都合な事態をも想定した上で、長期的な視野を持って望まなければなりません。講ずべき手だて、備えは一樣ではなく、その取捨選択が肝となります。

二元代表制の下でわれわれ議会は、執行者の意向を尊重しつつ、その適否を精査する役割を担います。18人の議員が情報と理解を共有し、腑落ちするためには、より深い議論をより多くの場面で心がけるべきと考えます。多様な市民ニーズにこたえるための意見集約、課題の解決のための意思決定を正確かつ速やかに行うこと、適切な提言を行うこと、できる、機能的な議会をめざして、さらなる改革を進めていく必要があります。

議員として自らの資質を研鑽していくことはもとより、与えられた任期を通して、宮内 守議長のパフォーマンスを遺憾なく発揮して頂けるよう、全身全霊で補佐することで、議会の円滑な運営、ひいては市政発展に貢献してまいりたいと存じます。市民の皆さまにおかれましては、温かい目でお見守りくださいましたら幸いです。

第1回臨時会に上程された議案

■専決処分の承認（5件）

- 行方市税条例の一部を改正する条例について
- 行方市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
- 令和4年度行方市一般会計補正予算（第11号）について
- 令和5年度行方市一般会計補正予算（第1号）について
- 令和5年度行方市一般会計補正予算（第2号）について

■委員会への付託が省略された議案

- 行方市介護保険条例の一部を改正する条例について

■人事

- 監査委員の選任について
 - ・議会選出監査委員として、小林 久議員を選任することに同意しました。

正副議長選挙の結果

■議長選挙

投票により決定しました。

■副議長選挙

投票により決定しました。